

エコを高校生から！減らそうレジ袋

取組に至る背景・事業の目的

本協議会は、平成 21 年 2 月に登録店における有料化（無料配布中止）を一斉に開始することにより、レジ袋削減に係る大きな成果を得て、容器包装 3 R 推進環境大臣賞の奨励賞を受賞するなど高い評価を受けているが、コンビニやドラッグストアなど食料品売り場以外の登録店の拡大が大きな課題となっている。

また、消費者の意識についても、食料品売り場においては、既に一定の成果が現れているものの、それ以外の売り場では、依然としてレジ袋を受け取る傾向が強い。そこで、食料品売り場以外においても、環境にやさしい生活スタイルへの転換や無駄を省いた消費行動についての啓発を行いたい。

特に、新たに消費者の仲間入りをし、今後は消費者の主力となっていく高校生を対象にして、レジ袋削減の啓発を行うことにより、この地域におけるレジ袋削減運動の推進と環境にやさしい生活スタイルへの転換など、環境意識の向上を図りたい。

事業内容

レジ袋の削減と環境意識の向上に向け、管内の高校生からデザインを募集したエコバックやレジ袋削減啓発用チラシ・ポケットティッシュを作成し、飯伊地区の高校生全員（約 5,000 人）に付与した。またマイバック制作講座を 2 回開催した。

事業効果

東日本大震災以後の環境問題に対する関心の高まりの中で、南信州における全高校生（約 5,000 名）に、エコバック、チラシ及びポケットティッシュを 3 点セットで配布してレジ袋削減の行動を促し、環境にやさしい生活スタイルへの転換や無駄を省いた消費行動についての啓発を行うことができた。また、平成 24 年度の全新生（約 1,600 名）についても各高校に依頼し、同様の啓発を行うことができた。

また、ローソンでは、本事業に理解と協力をいただき、飯伊地域の全店（10 店舗）においてチラシを店内に掲示したうえで、高校生に対して声掛けを行っていただき、レジ袋削減の行動を促すことができた。

なお、この事業について報道等で知った県内の自治体から「エコバッグを中学生等に配布してレジ袋の削減につなげたい。」とする問い合わせがあった。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

エコバックをより身近なものとして活用してもらうため、高校生を対象に南信州をイメージしたデザインを募集し、優秀な作品をエコバッグにプリントした。

レジ袋削減啓発用のチラシ及びポケットティッシュにも同様のデザインを使用し、環境にやさしい生活スタイルへの転換や無駄を省いた消費行動に係る啓発を印象的かつ親しめるものとするよう配慮した。

高校生にエコバッグを配布する前後に、高校近在のコンビニ等において、高校生のマイバッグの使用状況について聞き取りや目視による調査を行ったが、際立った変化を窺うことはできなかった。

この事業について報道等で知った県内の自治体から「エコバッグを中学生等に配布してレジ袋の削減につなげたい。」とする問い合わせがあり、今後、中高生等を対象としたエコバッグの配布事業として他の地域へも波及させたい。



【作成したエコバック等】

【選定のポイント】

高校生が活動に参加することで、レジ袋削減や環境意識の向上を若い世代にも広めている。この地域の先進的な取り組みであり、高い効果もあげつつあるレジ袋削減を更に進めることに貢献している。

団体名	南信州レジ袋削減推進協議会 (飯田市)	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	0265-53-0434	事業費	1,201,946 円
		支援金額	1,201,000 円